

カボス

● 新たな総社の特産物に

カボスの苗木を植えてみませんか。

新規作物導入推進協議会では、遊休農地対策や地産地消の推進になればと、新たな果樹カボスの栽培に取り組んでいきます。



ビタミンCの宝庫

カボスには、ビタミンCが豊富に含まれています。ビタミンCは、風邪の予防に効果があるといわれるなど、私たちの健康維持に大役役立つ栄養素です。また、リンゴ酸やクエン酸、ミネラルなども含まれています。クエン酸は、胃液の分泌を正常にしてくれるので、胃弱の人や食欲不振のときなどに効果があるといわれます。その外にも、筋肉中に蓄積された、乳酸によって生じる疲れの肩こりや頭痛も、クエン酸をたっぷりとることで、症状が和らげられるといわれています。さらに、カボスのもつさわやかな柑橘系の

カボスは現在、大分県の特産果樹として知られています。大分県では古くから、竹田や臼杵地方の民家の庭先に薬用として植えられていました。江戸時代に、宗源という医師が京都から持ち帰った苗木を植えたのが始まりといわれています。果実は4〜5cmの球形で、手のひらに乗せると程よく手になじむ大きさ。皮はつやつやとしていて、しばらく手に持っているとき、さわやかな香りが手に残ります。このカボスは、年間の平均気温が14〜15℃が栽培に適しています。そのため、気候が温暖な総社市の特産物としての生産が期待されています。

香りは、心を落ち着かせ、安らぎを与える効果ももっています。

料理の名脇役

カボス独特の豊かな風味やさわやかな香り、そしてまろやかな酸味は、食材のもつ風味を損なうことなく、料理の味を引き立てます。普通に絞って使ったり、皮をあしらえたり、スライスして香りと彩りを添えたりと、活躍する場面はさまざまです。みそ汁やなべ物、焼き魚などのいろいろな料理や、ジュースや焼酎などの飲み物にも気軽に使うことができます。

苗木を販売します

このカボスを市民の皆さんに栽培していただくため、同協議会で苗木の販売を行います。数に限りがありますので早目にお申し込みください。

販売価格 1本1000円(2年物)
申込方法 電話かファクシミリで申し込む
申込期限 3月20日(月)(先着順)
申込先・問い合わせ 新規作物導入推進協議会 ☎02-8271-8383 農林課内)



◎栽培に適した土地

カボスは風と低温に対して弱いので、次のようなことに注意してください。

[強い風の当たらない場所]

カボスは風が強くと当たると、古葉が早く落葉し、枯れやすくなります。また、生育期に風が当たり、枝や葉に傷ができると「かいはよう病」に感染しやすくなります。風当たりの強い場所には植え付けしないでください。

[温度条件]

カボスの主産県、大分県の適地選定基準は年平均気温が14〜15℃です。また、最低気温が-6℃以下になることが年3回以内、-7℃以下にはならない地域とされています。冬季に冷気流の停滞しない場所に植え付けてください。

[土壌条件]

土壌が深く、有機物の含量が多い土壌で、排水の良いところに植え付けてください。地下水位の高い場所は、収量や品質を低下させます。

◎植え付け時期

植え付けた後、寒さに遭うと木が弱り枯れやすくなります。寒さの影響が無くなる3月下旬〜4月中旬ごろに植え付けてください。

◎植え付け時の注意

苗木を土に深く植えると、自根が発生しますので、接ぎ木した部分を土で覆わないように注意してください。また、苗木の細根は絶対乾かさないう、植え付けは素早く行ってください。支柱を立てて誘引し、植え付け後は十分かん水して、敷きワラなどで土壌の乾燥を防止してください。